



派遣時、まずはIDカード作成



左がID、右は安全管理用(現場に出るとき安全管理責任者に渡す)



IDの裏には安全管理用のホワイトボードに貼る
氏名の入った



乗ってきた車のキーを預ける



無線機やライトなどバッテリー関係のものをもら
う



管理もしっかり



衛星無線と活動エリア用無線のアンテナ等



搜索救助犬



首を痛めた救助犬にも処置

登録隊員全員の資格取得・更新一覧表



ほとんどが強化プラスチックのコンテナ(Perikan
製)に収納

まとめ

- ステム・資機材・人員とも非常に組織化されている
- 適切に安全な活動をするには、相応の準備と投資が必要
- それを国が当然のこととして資金面でもきちんとサポートしている

災害訓練施設 Disaster City

2009年1月27日



全景図

左奥は主に消防関係、右手前は災害関係



車両事故



進入口作成訓練



圧壊想定



各種建物



Shoring(支柱)作成訓練





がれき現場



立体駐車場の圧壊



様々な想定



木造がれき



コンクリートがれき



列車転覆



トリアージ訓練



貨車やタンク車も



タンクも横転



タンカーの甲板と艦橋想定



コンクリートがれき2



木造がれき2



タンクローリー火災



飛行機火災

まとめ

- 広大な敷地に多様な想定
- 消防と各種機関が合同で訓練可能
- 施設を維持管理する専門のスタッフが20名近くいる
- 責任者のコメント
「施設を作るのは誰でもできるが、その機能を100%発揮できるようにするためには専門の人員が必要でありそれができているのがこの施設の優れた点である」

DEPARTMENT OF HOMELAND SECURITY
FEDERAL EMERGENCY MANAGEMENT AGENCY

NATIONAL URBAN SEARCH AND RESCUE RESPONSE SYSTEM

A Component of the National Response Framework
Emergency Support Function # 9



MEDICAL TEAM MANAGER POSITION DESCRIPTION